

平成28年度 ミニ集会（兼 第2回「開かれた学校づくり委員会」）記録

- 1 テーマ 「地域や保護者が船橋法典高校に期待すること」
— 災害時の避難所となることをふまえて —
- 2 日時 平成28年10月1日（土） 10:00～12:00
- 3 会場 千葉県立船橋法典高等学校 2階 図書室
- 4 次第 10:00～10:05 開会行事
(1)「開かれた学校づくり委員会」あいさつ 近藤 正司 委員長
(2) 校長あいさつ 武田 伸一 校長
(3) 日程等の説明
10:05～10:20 学校説明 三澤 信吾 教頭
10:20～11:00 行事見学 文化祭「緑城祭」
11:00～11:55 意見交換（懇談） → 内容は別記
11:55～12:00 閉会行事
(1)「開かれた学校づくり委員会」あいさつ 近藤 正司 委員長
(2) 校長あいさつ 武田 伸一 校長
- 5 出席者 地域（町会等）9名，PTA（保護者）5名，同窓会1名，青少年補導委員5名，市行政1名，県教育庁参観（生涯学習課ほか）5名，校長，教頭，事務長 計29名

※ 意見交換（懇談）の概要

- (1) 船橋法典高は地域や保護者からどのような期待を受けているか。どのような学校をめざすか。本校に対する感想・意見・要望など。
(自己啓発指導重点校の指定解除後の本校の印象、今後のどのような学校になってほしいか、等)

〔エステ・シティ自治会〕

- ・エステ・シティは平成8年にできて今年で20年目のマンション。その間ずっと自治会長をしているが、はじめの頃の法典高校のイメージはとても悪い。マンション敷地内での喫煙，ゴミの食い散らかし等，住民から学校へのクレームも多かったのではないかと。それがここ数年大きく変わった。県の指定校を受けていたとは聞いていたが，びっくりするくらいに良くなった。法典駅での生徒の態度もいつのまにかきちんとしていて，制服が変わった印象もあるのかもしれないが，エステでは今はクレームの話題は全く出てない。文化祭を見ても，みな楽しそうで，荒れてる印象は全くなく，成長してきた学校だなという印象。「やればできるじゃん」といった感じ。
- ・一番近い大規模マンションからの要望としては，マナーやヤル気は上がってきているので，次は学力の面で，エステのように一番近くの地元の住民が第一希望でいきたいような学校になってほしい。たとえば，特進クラスをひとクラス作るとか，ベースはできあがってきたと思うので，県のバックアップとしてさらにワンステップ上がった教育を指導してほしい。歴代の先生方の努力が成果として表れているので，指定校が解除になって元に戻るのではなく，引き続き地道な努力をしていただけたらと思う。

〔桐畑町会〕

- ・年に何回かの公道での清掃活動には，たいへん感心している。親が「あそこの学校だったら安心だね」と思えるような学校になってほしい。
- ・高齢化していく地域の中で，若者の存在は貴重。ぜひ地域の町会の行事にも参画していただいて，地域との交流をはかってほしい。吹奏楽部の行事参加に続くような活動を望む。地域の中に入って，世間に慣れるという経験も大切ではないかと思う。

〔柏井町住民〕

- ・地域の小中学生の保護者から見て、法典高校の評価は、正直良くない。レベルが低い。
- ・各種データから、良い方向に変わっていることは感じている。しかし、世間の評判としては「レベルが低い」という評価。近場にありながら、地元の中学校の生徒の間で「法典高校に行こう」という空気はほとんど無く、法典高校というのが話題にも出てこないというのが現実。もしかしたら昔からのイメージがあるのかもしれないが、残念なこと。
- ・時間が解決するものでもあるし、これからの取り組み次第だとも思うが、もったいないこと。
- ・できれば近場で、しっかりとした学校に通い、自分に自信と誇りを持って卒業していくというのが大事だと思うが、そうではない空気が漂っているのはたいへん残念なこと。
- ・学校における取り組みを外部に発信していくのはたいへん重要なこと。内々でやったこととか成果などをどんどん出していくべき。学校のホームページを見ると、その情報と整理の仕方にはたいへん感心している。それをどのように、どこに発信するのかだと思う。だれにも知られていないのは、たいへんもったいない。
- ・校内を見ると、掲示物がたいへん充実しているのがとても良い。たとえば、進学や就職の実績の表、卒業生のメッセージなど、本当に役に立つと思う。活躍している卒業生のメッセージは、どんな市販の本よりも心強いと思う。
- ・情報発信とともに、「きめ細やか（な指導）」というのがキーワードだと思う。行ける進路ではなく行きたい進路をかなえるためにも、一人一人の生徒とコミュニケーションを交わして、生徒の話をよく聞いて、アドバイスをしてあげてほしい。自分でどんどんやる生徒と、どうしていいかわからない生徒がいる、そこを見極めて、道筋を描いてあげることで、是非これからも発展していったほしい。

〔柏井二丁目町会〕

- ・地域の清掃活動をしてきている高校生が地域にいるということは、とても心強いこと。市川五中では、こういう生徒がこの地域にいますとあって、中学生を地域に戻す活動をしていた。柏井地区は高齢化しており、何かの時に若い力は役に立つ。高校生であれば大人並みの力を発揮できる。特に統制の取れた部活動の生徒は、重要な役割を果たすことができると思う。地域でのボランティア活動を広げられるような高校になればよいと思う。
- ・高校の評判というのは、悪いことはすぐに評判が広まるが、良くなっても評判はすぐには立ち直らない。学校の中身をよく見てもらって理解してもらうことが大事で、そうすれば、学校の良い評判はじわじわと広がる。登下校中の様子を見るのが住民にとっては一番わかる方法。それがきちんとしていけば、将来良くなるだろうと思うし、登下校の態度が悪くて、進学校の評判がガクンと落ちたということもある。
- ・基本的にしつけとか世の中を思う気持ちとかが育っていなければ、勉強の意味が無い。そのところも考えて進路先の高校も選んでほしいと思う。
- ・学校側でも先生方がもっと積極的に中学校の方に赴いて説明をされた方がよい。私立学校のように効果がある宣伝をしていくとよい。(中学校の)先生方の気持ちが変わると思う。

〔船橋市危機管理課〕

- ・生徒は3年で入れ替わるので、学校が良くならなかったのは、生徒が悪いのではなく、地域のみなさんや先生方の思い入れや熱意が不足していたから。これが伝わったことで良く変わったのだと思う。目標を持つことが大切。今年度、習志野高校から校長先生が来られて、部活動が盛んになるのではないかと考えている。

〔PTA会長〕

- ・10年前にもPTA会長を務めた。過去には本校生が地域に迷惑をかけたことを承知している。生徒の様子が大きく変わったのは、県の指定を受けてから。しかし何よりすばらしかったのが現場で働く先生の一生懸命な努力だった。生徒の質が変わって、大変良い学校になった。
- ・指定解除後の第二ステージをどうやって進んでいくかが大きな課題。本校職員とともにそれを支えるPTAもともに成長していきたいので、引き続き御支援を賜りたい。

〔開かれた学校づくり委員長〕

- 平成18年度から27年度まで、自己啓発指導重点校の指定を受け、全県から教員を公募したことで、立派な先生が赴任して指導してくれて、学校を立て直し、生徒も立派になった。
- しかし、以前の荒れた学校だった頃、そのイメージを地域全体が見てしまった。学校が良くなったと発信しても、校長先生一人の力ではどうにもならない。この地域全体の各リーダーの方々が、「こう変わったんだよ」という話をしてあげないといけないと思う。そのためにもこの集会で皆さんの御意見を伺っている。
- 指定校の10年間、先生方の努力で改善された状況を、指定解除後にどのように活かすのか考えたとき、たしかに学力のレベルアップは必要。しかし、学力だけでなく、マナーや地域のつきあいができたりすることも、人間の幸福のためには大切なこと。今後、どういう方向に進むのかということは大いに期待したいところ。
- 指定期間にレベルアップした状況を、解除後も継続し、それ以上にしていく、という考え方で進めてもらいたいと思っている。
- 学校が核になって、この地域全体を含めて、この学校をどうするかという意見交換の話し合いを、毎年もちたい。
- この学校を良くするのも悪くするのも、地域、校長先生はじめ先生方、PTAの力。総力をあげて頑張っていかなければならないと思っている。

(2) 地域自治会・町会の防災対策についての報告と、避難所運営マニュアルの作成および避難訓練の実施について。

〔開かれた学校づくり委員長〕

- 本校のように三つの市の境界に近い立地で避難所に指定されている珍しい学校で、防災について考えていくことは大事。地域の各町会自治会での防災対策の考え方と、防災訓練の実施等について報告してほしい。

〔柏井一丁目町会〕

- 市川市では、本町会の防災訓練の拠点を柏井小学校としているが、かなりの世帯で柏井小よりも法典高校の方が近い住民がいる。市の枠にとらわれずに近隣の自治会で集まって、そういう場合には協力して避難所の運営ができるような体制を作りたい、という呼びかけがあったのは、とてもよいことだと思った。大規模な災害では決められた一つの拠点だけで間に合うことはないと思うので、ぜひこういう機会に顔を出し、お互いに知り合って、もし何か起こった時にはお互いに連絡を取り合って、より良く対応していけたら、と考える。
- 案まではできている避難所運営の規約をなるべく早く本物にして、できれば法典高校での避難訓練もできたらと思っている。
- 柏井小への避難訓練は年1回(2月)、防災拠点協議会の打合せは年2~3回行なっている。
- 市行政の防災担当とも連携している。防災拠点協議会は、自治会、市行政担当、学校のコミュニティサポート、地域の消防、民生委員、という関係者で定期的に会合を開いている。

〔柏井二丁目町会〕

- 市川市は去年から市内の小学校を拠点校と決めている。生涯学習関係の外部団体で作る、地域で学校を支えるコミュニティという組織が元々あって、その組織を活かして、拠点校の防災組織が作られている。地域とともに今からやっていくという手間がかかると思うが、高校を中心とするコミュニティ関係の活動があれば、それを活かせると思う。
- 去年は会場の小学校まで移動する訓練を行なった。そこではあえて各自治会での動員をかけなかったのだが、思いのほか多くの人参加があっぴくりした。地域の住民もそれなりの危機感を持っている。次の段階では、実際に防災器具を扱う方法など、そういう方向に行くのかなと思う。拠点校の立ち上げには、コミュニティだけでなく、市職員も入っていて、市行政と

の交流と情報交換をするという立場で関わってもらっている。

〔法典中央町会〕

- ・年2回、避難訓練を中心とした、消防法に基づいた訓練（消火訓練、伝達訓練、機器の訓練など）を実施している。防災倉庫についても水、食料、調理用具、毛布などが備蓄されている。
- ・町会の会則や規則を改正して、災害時の対応について整備を図っているところ。
- ・現在、法典小を拠点に各町会が防災訓練を実施している。本町会は、法典小以外に、法典西小、法田中、旭中、法典高校、啓明高校と、避難場所に恵まれているが、今のままでは全員が法典小に来て飽和状態になってしまう。広くて施設も整っている高校も含めて、法典小以外の学校も地域の避難所に指定されていることを宣伝するようにしている。
- ・船橋市では、小学校と中学校だけを拠点にして訓練をやっているが、高校も避難場所に指定されていてまだ避難訓練をやっていない。指定の訓練日だけにとらわれず、高校でも訓練をやった方がよいのではないかなと思う。
- ・船橋法典高校として、防災について一生懸命やっていることを宣伝することも、学力だけでない地域の中での学校のレベルアップにつながるのではないかな。

〔桐畑町会〕

- ・今年からは、避難訓練だけでなく、長期の避難生活に必要なトイレなどの防災器具等の取扱い訓練も実施している。
- ・通常の災害とは異なる大規模地震の時の避難指示の仕方や集合の仕方をどうするか、また、高齢者など見守りを必要とする災害弱者の避難をどうするか（避難誘導や気配りの優先順位をどうするのか）が課題。

〔船橋市危機管理課〕

- ・地域の皆さまのご希望に添えるような形で訓練などをサポートしていきたいと思う。高校での訓練も、地域の計画・要望があればバックアップさせていただきたい。
- ・災害対策基本法に基づく防災計画は、基本的には市町村単位で決定するので、市川と船橋でも多少やり方は異なる。その中で、三市がまたがる地域の避難所となる高校は珍しい。
- ・市内で132か所指定した宿泊可能な避難所施設の中で比較すると、高校は小中学校よりは施設面で恵まれていて、有効かと思う。しかし船橋市としては小中学校だけで82か所と多くを指定しており、震度5強以上では、地域の医療5団体の医師等の方々が55か所の小学校に集まり、応急処置やトリアージをしたりする計画になっている。
- ・今回の総合防災訓練では、初めて行政中心ではなく住民主体で、受付も割振りもやっていただいている。避難所運営についても、地域の中で、法典小がダメな場合は高校を避難所にしようというような、多重化した目標を持っていただくのがよい。
- ・普段から、顔の見える関係を使っただけで、市境を超えた話し合いが大事で、県のモデルとなるような、初めての、何市かまたがる防災拠点・避難所運営協議会のようなものが立ち上がらばいいなと思っている。

〔開かれた学校づくり委員長〕

- ・避難所運営のマニュアルについてはまとまりつつある。皆さんの合意で内容をまとめていくのが今年度の課題。しかし、はじめから完全な形でのマニュアルはなかなかできない。訓練を重ねる中で、そのつど問題点が明確になっていくのだと思う。
- ・皆さんやはり、この学校を拠点とする防災訓練を早くやりたい、という意志なのではないかなと思う。しかし最初なので、完全な運営方法での完全な訓練、というのは難しい。未熟な状態であるけれども訓練を実施し、その中から問題を提起して、皆さんと協議し、良い方向にもっていくことを考えている。そのためにも、船橋、市川、鎌ヶ谷の三市にまたがる協議会を作った上で、協議会があるということアピールしながら、行政にサポートを求めていく。
- ・マニュアルについても審議したかったが時間が無かった。今後5つの町会自治会の会長さんと未熟ではあっても、内容を話し合っていく。